



rankoshi senior high school

蘭越高校通信

vol.032

文責 教頭 大堀

介護職員初任者研修講座修了

今年度も学校法人西野学園による介護職員初任者研修講座が実施されました。

1年生4名、2年生1名が修了証明書を手にしました。

除雪奉仕

2月2日(金)5、6校時に1、2年生が3カ所に分かれて、社会福祉協議会の方々とともに町内在住の高齢者宅の除雪奉仕を行いました。



この除雪奉仕は、20年以上の歴史があります。

なお、この奉仕の実施にあたっては、除雪を行う家の手配から生徒の移動の際のバスの手配、さらに除雪道具のマサさんダンブやスコップなどの準備すべてを蘭越町社会福祉協議会の全面的な支援をいただきました。

これからも蘭越高校は、地域の高校として地域とともに歩んでまいります。



音楽同好会ミニコンサート

2月9日(金)、町民センターらぶちゃんホールで第11回音楽同好会ミニコンサートを行了しました。

当日は、40人ほどの町民の皆様にもお越しいただき、2時間弱のステージでしたが、生徒たちは一生懸命演奏しました。



顧問の田中教諭、松下教諭や生徒が作詞・作曲した曲を含め15曲(アンコール曲を入れて)を演奏しました。

3年生はこれが最後のステージとなりました。



これからも蘭越高校音楽同好会をよろしく願います。

救急救命講習

2月13日(火)5、6校時に本校体育館で、1年生が保健の授業で救急救命講習を実施し



ました。
羊蹄山ろく消防組合消防署蘭越支署から2名の方が講師として来校され、生徒と教科担任の新居教諭とともに救命措置の方法を指導されました。

学校関係者評価委員会

2月22日(木)午後6時から本校会議室で学校評議員及びPTAの三役の皆様による学校関係者評価委員会が行われました。

今年度の学校の教育活動や自己評価の結果を評価することを通して自己評価の客観性や透明性を高めたり、学校の現状や課題について学校運営の改善にあたる様々な意見をいただきました。

なお、この委員会でもとめた学校評価書については、蘭越高校のHP(ホームページ)に掲載しております。

北海道原子力防災訓練

厳冬期の北海道電力泊発電所の重大事故を想定した北海道原子力防災訓練が2月8日、本町を含む周辺自治体13町村で実施されました。



本町での訓練は、大雪で孤立した要配慮者の救出や地震による避難所開設から屋内退避、参加住民を乗せたバスで俱知安町へ一時避難を行いました。

原発から5〜30⁺圏の緊急防護措置区域（UPZ）内に位置する本町では、防災訓練として最初に、行政通信システムで緊急放送を流して参加住民に町民センターらぶちやんホールへの避難を呼びかけました。



避難した住民は、今回の一時退避場所に設定した俱知安町中央公園にバスで移動し、検査と除染などを受け、厳冬期の防災訓練でしたが、迅速に進めることができました。



防災セミナー



学領域教授の根本昌宏氏をお招きし、冬の厳しい寒さの中で、どのような方法で寒さをしのぐことができるのか、様々な実証試験から学んだことをわかりやすく説明いただきました。

また、「冬の災害から命を守る減災対策」と題した防災セミナーを2月26日、町民センターで開催いたしました。講師には、北見市の日本赤十字北海道看護大学看護薬理



また、避難所の冷え切った床から寝具を離すことで、快適性が高まる段ボールベットの有効性や、冬を踏まえた災害食、備えておきたい防災グッズなどを教わりました。



最後に、蘭越町日本赤十字奉仕団のご協力の元、避難所で簡単にお米を炊くことができる炊飯袋で作った防災食（カレーライス）を参加者全員で試食しました。